

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

東アジアを中心に「漢字文化圏」と言われることがあるが、歴史的にみるとこうした地域では様々な言語を記録するために、漢字以外にも多くの文字が使われてきた。

現在確認されているもっとも古い漢字の原型は、殷の時代の甲骨文字である。そして秦の始皇帝が中国を統一し、貨幣や度量衡とともに文字の統一をはかった。さらに後漢の時代に字面を整理した隷書が用いられるようになり、また（ a ）によって製紙技術も改良され、現代に続く漢字文化が現れてきた。

隋に続く唐は東アジアの中心として国際性ある文化をつくりあげたが、この時代にモンゴル高原で勢力を持ったのはトルコ系の（1）（2）、つづく（3）（4）であった。（1）（2）は北方民族最古の文字とされる（1）（2）文字を用いていた。またここで商業に従事していたのが（5）（6）人であり、彼らは（7）（8）文字を草書化した（5）（6）文字を用いていた。この（7）（8）文字は古代オリエントで用いられ、後にアラビア文字のもととなった右から左に書く表音文字であり、（7）（8）人が内陸中継貿易で活躍したため、（7）（8）語は通商用の言語として西アジアで広く用いられた。

その後、縦書きの漢字文化圏への接触が密になり（5）（6）文字に由来した（3）（4）文字が作られ、主に西（3）（4）王国で用いられていた。一方7世紀に吐蕃を建国した（b）は、インド系の文字を基に（9）（10）文字を作らせた。これは仏典の翻訳・書写などに用いられ、今日でも（9）（10）語圏で用いられている。そして751年に中央アジアでおこった（c）河畔の戦いで唐軍がアッバース朝軍に大敗し、西域から後退することになるが、この時の捕虜が製紙法をイスラーム教徒に伝えたという。

日本では遣唐使が廃止され国風文化が栄える中、漢字から生まれた表音文字である仮名文字が用いられるようになった。また10世紀以降、中華社会を取り巻く周辺民族は国家的独立と時を同じくして、独自の文字を制定した。（3）（4）が西方に移動するとともに、モンゴル系の（11）（12）が勢力を伸ばし、漢字と（3）（4）文字から（11）（12）文字が作られた。11世紀にオルドス地方を中心に（13）（14）人が建てた（15）（16）では、漢字の要素を組み合わせた表意文字である（15）（16）文字が作られた。また12世紀に（17）（18）人が建てた（19）（20）では、（17）（18）文字が作られたが、これは（11）（12）文字と漢字から影響を受けている。

フビライは国名を元と改称し、南宋を滅ぼして中国全土を支配したが、そこでは多様な言語が用いられていた。モンゴル語を表記するために、彼の師であった（9）（10）仏教の高僧（d）が（9）（10）文字を基に新しい文字を作成したが書きにくさも普及せず、一般には（3）（4）文字に新しい文字を追加するなどの改訂を加えた縦書きのモンゴル文字が作られ、今でも内モンゴルを中心に用いられている。

一方ベトナムでは主に漢字が用いられていたが、（21）（22）は元の攻略を3度撃退して「南の小中華」として発展し、漢字の部首を基にした（e）が考案され、識者の間では広がりを見た。また朝鮮でも主に漢字が用いられていたが、15世紀には第4代国王の（23）（24）が国字として新しい表音文字である（f）を交付している。そしてヌルハチは（17）（18）諸部族を統一し、（25）（26）語を表記するためにモンゴル文字を応用した（25）（26）文字の策定

を命じた。さらにホンタイジが国名を清と改め、(25) (26) 文字の改良も行われて、その後辛亥革命によって清朝が滅びるまで、漢字と共に (25) (26) 文字が公文書で用いられることになる。

ベトナムでは19世紀後半に清仏戦争の結果 (g) 条約でフランスの保護権が認められた。そのため今日まで、漢字ではなくラテン文字のアルファベットによる表記システムが公式に用いられている。

辛亥革命を契機として外モンゴルは独立を宣言し、後に首相となる (h) らのモンゴル人民革命党がソヴィエト連邦の影響のもとモンゴル人民共和国を成立させた。そのため後にモンゴル語が (27) (28) 語と同系の (29) (30) 文字で表記されるようになる。この (29) (30) 文字は9世紀に (31) (32) 人への布教のために作成された文字が発展したものであり、(33) (34) の布教と共に広がりを見せた。そして1992年にモンゴル人民共和国は社会主義を離脱しモンゴル国となり、その後、初等教育でのモンゴル文字の学習が復活したのである。

問1 文中の空欄 (1) (2) ~ (33) (34) にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その記号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (1) ~ (34) にマークしなさい。

- | | | | |
|----------|-----------|---------------|---------|
| 11 アラム | 12 イエズス会 | 13 イスラーム教 | 14 ウイグル |
| 15 エフタル | 16 オイラト | 17 王建 | 18 契丹 |
| 19 匈奴 | 20 ギリシャ正教 | 21 キリル | 22 キルギス |
| 23 金 | 24 月氏 | 25 ゲルマン | 26 阮朝 |
| 27 高宗 | 28 ジュンガル | 29 女真 | 30 スキタイ |
| 31 スラヴ | 32 西夏 | 33 青海 | 34 世宗 |
| 35 鮮卑 | 36 ソグド | 37 太祖 | 38 大理 |
| 39 タングート | 40 チベット | 41 チャハル | 42 陳朝 |
| 43 突厥 | 44 ノルマン | 45 フランチェスコ修道会 | 46 フン |
| 47 渤海 | 48 マジャーール | 49 満州 | 50 李朝 |
| 51 黎朝 | 52 ロシア | | |

問2 文中の(a)から(h)にあてはまる最も適切な語句を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

東南アジア諸国連合（ASEAN）は1967年に^(a)インドネシア、フィリピン、シンガポール、タイ、マレーシアの5か国で結成され、2017年に50周年を迎えた。結成当時は反共主義にたつ外相会議として発足した。その後、1976年には (35) (36) を結び、これが先進諸国に歓迎されて援助や投資が加盟国に集中した。現在の加盟国10か国は、(37) (38) を形成して、域内貿易と域外貿易を活発に行っている。こうした貿易は、この地域がたどってきた歴史を背景として成立してきた。東南アジアの交易が16世紀以降にどのような歴史をたどってきたのか、国ごとに確認してみよう。

歴史を振り返ると、活発なアジア内の交易にヨーロッパから最初に参入したのはポルトガルで、1505年には (39) (40) 島、1510年にはゴア、^(b)1511年にはマラッカに進出した。(41) (42) 年にはマカオに居住権を得て、日本と中国との間の交易にも参入した。

ポルトガルにつづいて東南アジアに進出したのはスペインであった。スペイン王室の後援を受けてポルトガル人マゼラン（マガリャンイス）は (43) (44) 年に香辛料特産地のモルッカ諸島を目指して西回りの大航海に出発し、フィリピンに達したが、そこで死亡した。1565年にレガスピが (45) (46) 島に到達した後、スペインは1571年にフィリピンの (47) (48) 島にマニラ市を建設した。スペインは、マニラと (49) (50) とのあいだで、太平洋を横断するガレオン船貿易を始め、アメリカ大陸から銀、中国の絹や陶磁器などを運んで莫大な利益を得た。19世紀後半になると、フィリピンでは植民地支配を批判する (51) (52) らの知識人による啓蒙活動が始まり、^(c)フィリピン革命につながっていく。1898年のアメリカ＝スペイン戦争の後、(53) (54) らを中心にしたフィリピン共和国が成立したが、フィリピン＝アメリカ戦争に敗れたフィリピン共和国はアメリカによって (55) (56) にされた。

オランダは17世紀に東インド会社を設立して東南アジアへ進出し、(57) (58) 島のバタヴィア（現ジャカルタ）を拠点として香辛料貿易の実権を握った。オランダは東南アジア地域に領土を獲得した後、^(d)商品作物や鉱物資源の開発を積極的に進め、それらの生産物を世界市場に直接結びつけた。

イギリスは東南アジアから中国への貿易活動の拡大を狙い、18世紀末から19世紀初めにかけてマレー半島の港市を入手し、(59) (60) 年にはマレー半島の (61) (62) ，マラッカ、^(e)シンガポールを (63) (64) とする。1870年代に入るとイギリスはマレー半島における領域的な支配に取り掛かった。1895年にはマレー連合州を結成させ、間接的に統治した半島部の諸州と (65) (66) 島の北部の諸州を合わせてこの地域の支配を確立した。

フランスは、ベトナムの南部を (67) (68) ，北部の阮朝を (69) (70) とした。1863年に (69) (70) としていた (71) (72) とベトナムを合わせて、1887年にフランス領インドシナ連邦を形成した。1899年には (73) (74) もこれに編入された。

このように、島しょ部で領土を広げていったオランダ、スペインに加え、19世紀になるとイギリスとフランスも植民地獲得にのりだし、現ASEAN加盟国のうち^(f)タイを除く全域が植民地にされた。

問1 文中の空欄 (35) (36) ～ (73) (74) にあてはまる最も適当な語句や数字を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (35) ～ (74) にマークしなさい。

11 1516	12 1519	13 1526	14 1557
15 1575	16 1819	17 1825	18 1826
19 AEC	20 AFTA	21 ANZUS	22 ASEM
23 ARF	24 RCEP	25 SEATO	26 TAC
27 アカプルコ	28 アギナルド	29 アフガーニー	30 インドネシア
31 海峡植民地	32 カンボジア	33 コーチシナ	34 自治領
35 ジャワ	36 スハルト	37 スマトラ	38 セイロン
39 セブ	40 ダバオ	41 直轄植民地	42 直轄領
43 パナマ	44 バリ	45 ファン＝チュー＝チン	46 プエルトリコ
47 ペナン	48 保護国	49 ホセ＝リサール	50 ボニファシオ
51 ボルネオ	52 香港	53 マダガスカル	54 マハティール
55 マレーシア	56 ミャンマー	57 ミンダナオ	58 ラオス
59 リマ	60 ルソン		

問2 下線部(a)の5か国の次に加盟した国の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部(b)で1511年にポルトガルに占領されるまで、マラッカ王国は東南アジア最大の貿易拠点となり国際交易都市として発展していた。同じように、13世紀末から、ジャワ島東部で貿易拠点として栄えたヒンドゥー国家の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(c)に関連して、スペイン支配からの解放を目指して1892年に結成された秘密結社の名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(d)のような活動はスペインやイギリスが支配する地域でも行われた。19世紀以降にマレー半島で開発された鉱物資源(あ)、フィリピンで主に生産されていたフィリピン原産の作物(い)、マレーシアで南インドからの移民を主な労働力として栽培されるようになった作物(う)の名称を、それぞれ解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部(e)に関連して、1965年にマレーシアから分離・独立したシンガポールは大きな経済成長を果たした。これをもたらした初代首相の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部(f)に関連して、(え)19世紀までに東南アジア諸国が植民地化されていく中でタイだけが独立を保つことができた理由を「緩衝」という言葉を用いて、解答用紙Bの所定の欄に20字以内で説明しなさい。もう一つの理由である、チャクリ改革を行ったタイ国王の名前(お)を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

今から50年前、1968年は既存の体制に異を唱える学生や知識人、一般の市民による抗議活動が世界各地で頻発した年である。この年を境にしてすべてが変わってしまった訳ではないものの、冷戦という二極構造から多極化した世界へと向かうパラダイムの移行期であったことは間違いない。この年を挟んで生じた出来事としてはベトナム反戦運動、フランス (75) (76) 革命、プラハの春、プロレタリア文化大革命、^(a)アラブの産油国による (77) (78) の結成などがある。

世界各地で大規模な反戦運動を引き起こしたベトナム戦争は、巨視的に見れば脱植民地化の動きと冷戦構造が局地的に重なって生じた戦争だった。^(b)1945年に (79) (80) が独立を宣言したものの、フランスが再植民地化を目論んだためインドシナ戦争が始まる。1954年、(81) (82) 協定によって北緯17度線が北の (83) (84) 国と南の (85) (86) 国を分ける暫定境界線に設定され、1955年に (87) (88) 国が樹立されたことによって、この分断が決定的なものとなった。アメリカの (89) (90) 大統領は共産主義化の波がベトナムから東南アジア各地に波及することを懸念してベトナムへの介入を強めていき、1964年の (91) (92) 事件をきっかけとして北ベトナムへの空爆を開始する。1960年代後半になると泥沼化した戦況が多様なメディアによって報じられ、大規模な反戦運動が巻き起こった。また、徴兵されてベトナムへ送られた若者たちの社会的分布に大きな偏りがあったため、反戦運動は^(c)公民権運動とも結びついていく。1973年に「名誉ある撤退」を掲げた (93) (94) 大統領の主導によって、アメリカはベトナムから全面撤退した。

1962年のエヴィアン協定によって (95) (96) の独立を承認したフランスでは (97) (98) 大統領のもとで安定した政治状況が生まれた。こうしたなか、1968年にはパリ郊外の大学に端を発した学生たちの抗議活動が労働者に波及し、またたく間に全面的なストライキに発展する。このフランス (75) (76) 革命は国民議会が解散して総選挙が実施されたことによって終焉を迎えた。

チェコスロヴァキアでは重工業を偏重する経済政策により産業構造に歪みが生じ、消費財の不在が顕在化していた。1968年に第一書記に就任した (99) (100) を中心として、社会主義を前提としながら市場原理の導入や民主化を進めようとする改革運動、プラハの春が推進されるものの、^(d)(101) (102) 軍の介入によって頓挫させられた。ここでも (101) (102) 軍に抵抗したのは政府や軍隊ではなく、学生や一般の市民だった。

1960年代の中国は、対米平和路線への批判をきっかけにソ連との関係が悪化したうえ、(103) (104) の亡命が契機となって中印国境紛争が発生するなど、国防が優先される状況が生まれていた。こうしたなかで若者や学生たちは紅衛兵として組織化され、資本主義的な価値観を排除して純粋な社会主義を希求する運動、^(e)プロレタリア文化革命の先鋒を担った。彼らはあまりに急進化したため、1968年には全国の学校が軍の管理下に置かれる。社会的混乱を引き起こしたプロレタリア文化大革命が終わりを告げるのは^(f)「四人組」が逮捕された後、1977年のことだった。この翌年以降、「四つの現代化」を受け継いで改革を進めていくのが (105) (106) である。

米ソの関係を軸としてみても、1968年は両者の対立が緩和していく時期にあたっている。1962年にはキューバへのミサイル基地建設計画をきっかけに両国間の緊張が極度に高まった。核戦争の勃発寸前にまで至ったこのキューバ危機はミサイルの撤去によって回避される。これをきっかけとして米ソ両国は核兵器の開発競争から方向転換することになり、^(g)1963年に (107) (108) 条約、1968年には (109) (110) 条約が調印された。

問1 文中の空欄 (75) (76) ~ (109) (110) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (75) ~ (110) にマークしなさい。

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 11 二月 | 12 五月 | 13 七月 | 14 APEC |
| 15 OAPC | 16 OPEC | 17 アムリットサル | 18 アルジェリア |
| 19 核拡散防止 | 20 北大西洋条約機構 | 21 ケネディ | 22 江沢民 |
| 23 ゴ=ディン=ジエム | 24 ゴムウカ | 25 周恩来 | 26 ジュネーブ休戦 |
| 27 ジョンソン | 28 ダライ=ラマ13世 | 29 ダライ=ラマ14世 | 30 中央条約機構 |
| 31 中距離核戦力全廃 | 32 チュニジア | 33 鄧小平 | 34 ド=ゴール |
| 35 ドプチェク | 36 トンキン湾 | 37 ナイジェリア | 38 ナジ=イムレ |
| 39 ニクソン | 40 ネルー | 41 バオダイ | 42 ファン=ボイ=チャウ |
| 43 部分的核実験禁止 | 44 ブルム | 45 ベトナム | 46 ベトナム共和 |
| 47 ベトナム社会主義共和 | 48 ベトナム和平 | 49 ベトナム民主共和 | 50 包括的核実験禁止 |
| 51 ホー=チ=ミン | 52 ミッテラン | 53 ローズヴェルト | 54 ワルシャワ条約機構 |

問2 1973年、第4次中東戦争に対して、下線部(a)の組織がどのような措置をとったことが第1次石油危機の原因のひとつとなったのか。解答用紙Bの所定の欄に30字以内で説明しなさい。

問3 下線部(b)の独立宣言が出される直前にここを占領していた国を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 1960年代に人種差別の撤廃を目指す、下線部(c)の運動で指導的立場を担い、ノーベル平和賞を受賞するものの、1968年に暗殺された人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(d)に関連して、チェコスロヴァキアへの軍事介入が生じた当時のソ連の第一書記の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部(e)の運動によって1968年に国家主席の地位を追われた人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部(f)に関連して、江青、王洪文、張春橋、姚文元の四人を逮捕して経済の再建に取り組んだ首相の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 当時の国際連合安全保障理事会の常任理事国のうち、米ソの他に下線部(g)の条約に調印した国はどこか、国名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。